

共同プレス・リリース(仮訳)

ITERサイト決定のための次官級会合の結果について

ウィーン、オーストリア — 2003年12月5日

カナダ、中国、EU、日本、韓国、ロシア連邦、米国の代表は、ITERに関する交渉を進展させるため、2003年12月4、5日にウィーンにおいて会合を開いた。会合は、IAEA事務次長のウェルナー・ブルカートを議長として、IAEA本部において開催された。

各国代表は、日欧の両候補地において、各国による負担額の合計が必要な費用額に達するという、ITERの交渉における重要な一里塚を築いた。

この成果により、閣僚級会合においてサイトに関する合意に至るための基礎が出来たと各国代表は確信している。

ITERサイト決定のための閣僚級会合は、2003年12月20日にワシントンにおいて開催される。